

いわくら 市議会だより

平成25年
2013.5
No.189

2013年(平成25年)5月1日
編集 議会広報特別委員会
発行 岩倉市議会
〒482-8686
岩倉市栄町一丁目66番地
TEL 0587-38-5820 議会直通
FAX 0587-66-0055 議会直通



< 岩倉桜まつり >

この写真は西市町の松原 博 さんから提供していただきました。

主な内容

☆3月定例会のあらまし	2~5
☆議会基本条例の検証結果報告	6
☆所信表明に対する代表質問(4名)	7~10
☆一般質問(7名)	11~15
☆お知らせ	16

子育て支援、新学校給食センター

8,000万円を全員賛成で原案可決

平成25年3月(第1回)定例会のあらまし

3月定例会は、3月4日から28日までの25日間の会期で開催されました。

この定例会では、平成25年度一般・特別会計予算をはじめ、市長提出議案42件、議員提出議案2件、継続審査中の請願2件の審議を行いました。

また、市長の所信表明に対し、各会派の代表者が質問に立ち、一般質問では7名の議員が市政全般にわたり質問をしました。

全議員で構成の予算常任委員会

予算審議はこれまで、一般会計と特別会計を別々の委員会で行っていますが、今3月定例会より、全ての予算を把握するため14人全員が参加する予算常任委員会を設置しました。

デマンド交通事業

高齢者、障害者及び子育て世帯の社会参加を促進するため、医療機関等への移動支援や公共施設への利便性向上を図り、新たな交通手段を鉄道駅やバス停に接続することにより、既存の公共交通の利用促進を図ることを目的とする事業。利用者は出発地と目的地及び利用希望時刻を予約する。本年10月からの実証運行開始に向けて準備を進めます。

問

福祉タクシーや、すこやかタクシーの助成はどうするのか。

答 今回のデマンド交通では車椅子の方を対象としておらず、タクシー助成は継続する。

問

高齢者約1万人、高齢者を除く障害者約860人、子育て世帯約3千人を見込んでおり、登録者以外の利用は想定していない。

登録制を想定していることだが、利用者数等の見込みと、登録者以外の利用対応はどのようにうか。

認定こども園整備事業費補助事業

社会福祉法人曾野福祉会と学校法人曾野学園が、幼保連携型認定こども園に移行するあたり補助をし、3歳未満児の定員枠の拡大を図るもの。

問

新しく開設される認定こども園は、岩倉市の保育園と同じ基準で運営していくことですか。

答 運用については今後協議していく。

問

東海総合通信局のガイドラインに沿い、地域住民の意見も聞きながら検討していく。

問

防災行政無線は、防災以外の利用はできるのか。

大災害で被災した場合は電話等の回線が不通となる。市内20カ所にスピーカーを設置し、市役所の防災無線室から各スピーカーの無線機と電波通信することで、災害情報の収集や伝達手段を確保する。

防災行政無線(同報系)整備事業

デマンド交通、安全・安心な施策、

平成25年度一般会計予算134億

問

問

現在の給食センターの跡地利用はどのように考へてあるか。跡地利用については、売却も視野に入れこれから検討する。

平成28年9月に調理開始を予定している給食センターを建設するために基金を積立てるとともに、平成25年度は基本構想等の策定を行う。

**新岩倉市立学校給食センター
建設事業**

この事業の中でも、未熟児の訪問事業も権限移譲されているが、この指導内容や体制はどのようか。

答

未熟児訪問指導はこれまで江南保健所の管轄であったが、現在は本市の保健師も同行し指導内容などを確認している。今後も江南保健所の指導を受けながら訪問を行っていく。

未熟児養育医療費給付事業

入院を必要とする未熟児に対して必要な医療の給付を行うもの。県からの権限移譲の一つ。

答

同等の保育の質が提供できるよう努める。

舗装側溝について

舗装側溝は生活道路よりも幹線道路に比重が置かれているが、地域からの要望にも応えられる予算づくりをするべきではないか。

答

引き続き、区からの要望に対応するとともに、過去に整備した都市計画道路の舗装の傷みが激しいため、社会資本整備総合交付金を活用し、都市計画道路の舗装修繕も進めていきたいと考える。

五条川小学校のプール改修工事について

問

五条川小学校のプールは、水面が1日に数センチ下がる状態であるとのことだが、現在の改修計画よりも早い対応はできないのか。

答

小プールについては漏水箇所の特定ができるが、大プールについてはできていないため調査の必要がある。調査結果によつては、修繕のみの対応とし、工事を実施しない可能性もある。

討論

賛否が分かれた議案について、討論の一部を掲載します。

岩倉市総合体育文化センターの管理を指定管理者に行わせるこ

とについて

反対討論（桝谷規子議員）

社会教育施設に指定管理者制度を導入することは、全国でも問題になった。国会でも、平成20年の社会教育法改正の議論の中で文部科学大臣が、指定管理者制度は社会教育施設にはなじまないという答弁をされ、付帯決議でも指定管理者制度による弊害について触れられた。

全国各地で官から民へという流れの中、公の施設や社会教育施設がさまざまな民間手法によって管理運営され、安全管理については社会問題として報道もされた。

スポーツの振興並びに市民の体力及び健康の増進を図ること、文化、芸術の振興に寄与するという総合体育文化センターを市民に利用していただくには、民間委託でなく十分な

2013年(平成25年)5月1日

岩倉市議会だより

職員配置をする市の管理運営が必要であると考える。

賛成討論（井上博彦議員）

同センターについては、平成23年度から受付等業務を民間委託するとともに、月曜開館やトレーナーの配置を行うなど、市民サービスの向上が図られてきた。

今回、次のステップとして、指定管理者制度を導入し、施設全体の維持管理向上や施設を有効利用したスポーツ教室等を充実させ、スポーツ人口の拡大を目指すものである。

また、スポーツ大会やイベントは、これまでどおり体育協会、スポーツクラブなどの各団体に委託しながら、指定管理者には、民間ならではのノウハウを生かしたスポーツ教室等の企画・運営など、より充実した自主事業の実施を求めることにより、身近にスポーツを体験できる環境づくりが進むと考える。

このように、行政、市民、指定管理者が協力し合うことにより、一層の相乗効果が生まれることを期待する。

賛否が分かった議案等

※塙本秋雄議員は議長であるため採決には加わらない。
※木村冬樹議員は最終日欠席。

○は賛成 ×は反対

件名		審議結果	宮川 隆	塙本秋雄	相原俊一	加納のり子	須藤智子	梅村均	松浦正隆	黒川武	井上博彦	桝谷規子	木村冬樹	横江英樹	関戸八郎	伊藤隆信
議案	岩倉市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	—	×	○	○
	岩倉市総合体育文化センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	—	×	○	○
	岩倉市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	退席	—	退席	○	○
	平成25年度岩倉市国民健康保険特別会計予算	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	退席	—	退席	○	○
請願	岩倉のすべての子どもたちが希望に輝き健やかに暮らせる環境を求める請願書	不採択	×	—	×	×	×	×	×	×	×	○	—	○	×	×

〈人事案件〉

(任期 平成28年4月19日まで)	松浦代助氏 （再任）	岩倉市固定資産評価審査委員会委員選任に同意（新任）	久保田桂朗氏 （任期 平成25年7月6日から 平成29年7月5日まで）
中本町在住	野寄町在住	岩倉市教育委員会委員選任に同意（新任）	鈴井町在住

審議された議案等の本会議での採決結果

市長提出議案 ※結果の記載がないものについては、『全員賛成で原案可決』です。

- 岩倉市教育委員会委員の選任について・・・・・・・・・・・・・・・・『全員賛成で原案同意』
- 岩倉市固定資産評価審査委員会委員の選任について・・・・・・・・・・・・『全員賛成で原案同意』
- 岩倉市公共施設整備基金条例の制定について
- 岩倉市自治基本条例審議会の組織及び運営に関する条例の制定について
- 岩倉市指定地域密着型介護老人福祉施設の入所定員並びに指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に係る申請者の資格を定める条例の制定について
- 岩倉市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 岩倉市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について
- 岩倉市道路構造の技術的基準を定める条例の制定について
- 岩倉市道に設ける案内標識等の寸法を定める条例の制定について
- 岩倉市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の制定について
- 岩倉市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について
- 岩倉市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例の制定について
- 岩倉市都市公園条例の制定について
- 岩倉市民プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 公益的法人等への職員の派遣に関する条例の一部改正について
- 岩倉市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について
- 岩倉市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 岩倉市職員の給与に関する条例の一部改正について・・・・・・・・・・・・『賛成多数で原案可決』
- 岩倉市税条例の一部改正について
- 岩倉市国民健康保険税条例の一部改正について
- 岩倉市総合体育文化センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について・・『賛成多数で原案可決』
- 岩倉市障害者自立支援審査会の委員の定数等を定める条例の一部改正について
- 岩倉市障害者医療費支給条例の一部改正について
- 岩倉市営住宅管理条例の一部改正について
- 岩倉市道路占用料条例の一部改正について
- 岩倉市下水道条例の一部改正について
- 岩倉市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
- 岩倉市環境保全都市宣言による市街化区域内生産緑地に関する補助金交付条例の廃止について
- 平成24年度岩倉市一般会計補正予算（第6号）
- 平成24年度岩倉市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 平成24年度岩倉市介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 平成24年度岩倉市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 平成25年度岩倉市一般会計予算
- 平成25年度岩倉市国民健康保険特別会計予算
- 平成25年度岩倉市土地取得特別会計予算
- 平成25年度岩倉市学校給食費特別会計予算
- 平成25年度岩倉市公共下水道事業特別会計予算
- 平成25年度岩倉市介護保険特別会計予算
- 平成25年度岩倉市後期高齢者医療特別会計予算
- 平成25年度岩倉市上水道事業会計予算
- 環境都市宣言
- 岩倉市副市長の選任について・・・・・・・・・・・・・・・・『全員賛成で原案同意』

請願

- 緊急時に子どもたちと保護者を繋ぐ通信システム運用の請願書・・・・・・・・『採択』
- 岩倉のすべての子どもたちが希望に輝き健やかに暮らせる環境を求める請願書・・『不採択』

議員提出議案

- 岩倉市議会基本条例の一部改正について・・・・・・・・・・・・・・・・『全員賛成で原案可決』
- 岩倉市議会委員会条例の一部改正について・・・・・・・・・・・・・・・・『全員賛成で原案可決』

議会基本条例の検証結果報告

岩倉市議会は、平成23年5月1日に議会基本条例を施行しました。

この条例を具現化し、さらなる議会改革・活性化推進のため、議員全員による議会改革特別委員会を設置し、平成24年度は20回の会議を開催しました。試行錯誤しながら、さらなる議会改革を推進してまいります。

基本条例第26条の「条例の目的が達成されているか否かを、特別委員会において年1回以上検証する」という規定により、平成24年度の検証結果を以下のとおり報告します。

議会基本条例（一部抜粋）		検 証 結 果
第6条	「議員研修の充実強化に努める」	議会広報特別委員会委員が議会だより作成の研修に参加した。
		「岩倉市自治基本条例における議会及び議員の役割とその責務」というテーマで、四日市大学総合政策学部 岩崎恭典教授による講演会を開催した。
第7条	「議会図書室を適正に管理」	図書室規程を制定した。
第9条	「政務活動費使途を積極的に市民に公開し」	平成23年度の政務調査費をホームページに掲載した。 (平成25年3月1日より政務活動費に名称変更)
第10条第4項	「市民等との意見交換の場を設ける」	議会報告会を3回実施した。
第11条第1項	「情報の提供に努める」	平成24年6月定例会より委員会会議録をホームページに掲載した。
第11条第2項	「議会と市政に関心を持つよう努める」	定例会の日程を事前に「広報いわくら」に掲載した。
		「市議会だより編集方針」を改正した。
第12条	「市長等の監視及び評価を行い」	議会独自の行政評価を実施するにあたり、先進市の田原市へ視察を行った。
第21条	「代表質問」	平成25年3月定例会より代表質問を、総括方式から一問一答方式とした。
第23条第1項	「災害対策本部と共に防災活動を実施する」	平成24年度防災訓練において、市議会災害対策支援本部を現地にて設置し、訓練に参加した。
第26条第2項	「条例の改正」	地方自治法改正に伴い、第9条を一部改正した。

所信表明に対する代表質問

☆市長選挙後、初めての議会となる3月定例会において市長から所信表明があり、各会派の代表者がそれぞれの立場で質問をしました。

創政会



須藤智子 議員

学校給食センターについて

問

新しい学校給食センターについての、施設の基本的な考え方

方は。

答

①文部科学省が示す「学校給食衛生管理の基準」及び厚生労働省が示す「大量調理施設衛生管理マニュアル」に基づいた衛生管理

施設とし、安全安心な給食を提供する②良好な作業環境とコスト縮減を考慮した施設を目指す③食物アレルギーに対応する学校給食を提供する

④省エネルギー、環境負荷軽減に取り組む⑤見学者用コースを設置し、

食育の推進や地域に開かれた施設とする⑥周辺の道路状況や住宅状況、

施設の熱源などを配慮した用地を目指す⑦公共交通サービスとしての役割や意義を十分意識し、質の高い行政サービスの提供を目指す。

デマンド交通について

問 デマンド交通を導入することとした理由は何か。

答

長年にわたる、議会における巡回バスの論議を経て、他の自治体におけるコミュニティバスの利用実態やデマンド交通を実施している事例などを研究してきた結果、

対投資効果や運行自体の効率性などから総合的に判断し、決められたバス停を巡回するルート型ではなく、デマンド型を選択した。

調整区域における宅地開発について

問

区域指定の要件はどのようか。

答

大きく3つの要件がある。市街化調整区域であっても市街化区域と同程度の40%以上の宅地化率を有していること。その区域内にある道路の幅員が一部で6メートル以上あり、そこに至る主要な道路の幅員が6.5メートル以上であること。下水道の処理区域または計画区域であり、優良農地を除く区域であることである。

財政健全化について

問

平成25年度一般会計予算は前年度比4.5%と大幅な伸びとなっている。市長のマニフェスト100策の実行のためには、財政的な負担も当然必要となるが、健全な財政運営が重要である。今後の財政運営についての考えは。

答

私のマニフェストにもあるように、子や孫にツケを回さない財政運営を行う。市民満足度、費用対効果など多角的に検証し、事業そのものの選択をして、実施を決めた事業は、優先順位、実施年度など的位置づけをして進める。

問

市街化区域内の宅地供給・住宅供給の活発化は、どのように進めていく計画なのか。

問

子育て支援として、民間事業者による「認定こども園」の開設に向けて、今後どのような支援を行っていくのか。

社会経済情勢の変化や女性の社会進出などにより、高まる3歳未満児の保育ニーズに応えていくため、認定こども園開設に向けて支援金を活用し、施設整備に対する支援をする。

市街化区域内の宅地供給・住宅供給の活発化について

日本共産党



横江英樹 議員

教育に力を入れるなど、独自の保育も展開されている。

今回、子どもの庭保育園と曾野第二幼稚園から、幼保連携型認定こども園に移行したい旨の申し出があり、

市としても、保育園と幼稚園の果たすべき機能を確保しながら、特に二子の高まっている3歳未満児の定員枠を拡大していくためにも、その施設整備事業費に対しても、その事業も活用して支援していくかと

答 横江英樹 議員

問 市長は、子どもの庭保育園や認定こども園のあり方にについて、どのように考えているのか。

答 認定こども園は、就学前児童のための施設として、保育に欠ける子どもも、欠けない子どもも受け入れて教育と保育を一体的に提供するとともに、子育て相談や親子の集いの場等を提供する地域の子育て支援としての機能を備えた施設である。

今年度4月、市内で初めての民間保育園として子どもの庭保育園が開設され、本市では、これまで、施設整備や、その運営にあたっての支援を行ってきている。子どもの庭保育園では、保育の質を確保しながら、

様の制度を導入してはどうか。

答 震災時等の大災害に対しても、消防職・団員はもちろんのこと、岩倉市の持てる力を結集し、対応することが必要である。

大災害の対応について

問 東日本大震災から2年が経過し、あらためて震災時の対応について各機関の取り組みを調査された。東京消防庁では、阪神・淡路

大震災時、消防機関のみでの活動に限界を再認識したことから、震災時等に消防隊の活動支援を行う災害時

答 桜通線・江南岩倉線整備事業は、駅東再開発事業として進めいくのか。

今年度4月、市内で初めての民間支援ボランティア制度を平成7年から発足し、消防のOBなどが中心となつてサポートする仕組みが確立している。本市についても震災時等の大災害に対して、消防のみで対応することは困難であると考えるが、同

心とし、隣接する街区においても再開発事業によるまちづくりを想定していたが、地区内における個人開発や建て替えが年々進んできていることから、再開発事業による基盤整備は困難な状況となってきた。

このため、地元の権利者組織である岩倉駅東地区再生協議会とも協議を重ねているが、多大な期間と事業費を必要とする再開発事業による整備ではなく、早期に都市防災を推進する観点からも都市計画道路の整備に主眼を置いて事業を進める方針に変更しており、再開発事業による整備は考えていない。

都市計画道路整備後の沿道の土地利用方法については今後も検討を進めるが、立体換地としての再開発事業による整備は考えていない。

桜通線・江南岩倉線整備事業について

問 桜通線・江南岩倉線整備事業は、駅東再開発事業として進めいくのか。

答 駅東地区再開発事業は、平成21年度に事業完了した北街区再開発事業（約1ヘクタール）を中

☆桜通線とは

岩倉駅東駅前広場を起点とし市道乙豊田岩倉線を終点とする延長560メートルの街路。

市民クラブ



井上博彦 議員

答

児童数の推移や小人数学級への移行時期等を見極めて、利

用する子どもたちにとつては学校生活との違いを意識することができる
ような配慮も必要であり、学校側とも十分調整を行い研究していく。

太陽光発電パネルについて

特別養護老人ホームについて

答 特別養護老人ホームへの補助は、実際には条例上で社会福祉法人への補助を想定しており、民間会社の経営が多い有料老人ホームへの補助は、慎重な取り扱いが必要と考える。

答

答 自然エネルギーの活用については、太陽光発電が最も有効な方法で、将来にわたって活用する予定の無い土地に太陽光パネルの設置も有効な土地利用があるので調査、研究していきたいと考える。

災害時応援協定について

放課後児童健全育成事業の新

しい展開として、小学校の空き教室の改修があるが、どのようなことか。

放課後児童健全育成について

問

問 広域的な被害を想定し県外の自治体と災害時応援協定を締結あるが、これまでに交流のあつた自治体との協定を考えているのか。

答 指定管理者と授業協定を締結している。相手の
あることであり検討をする。

答　福井県大野市と災害時相互救援協定を締結している。相手

市街化調整区域内における未利用地の宅地開発でどのようなまちづくりを計画しているのか。

生涯学習講座について

近隣市町とお互い補完できる
ようには、具体的にどのよ
うなことを考えているのか。

答 自治体単独での講座開催にも
限界があり、近隣市町が各々
の歴史文化や自然環境といった特徴
を生かすことで、より充実した生涯
学習講座を提供できると考える。

申し出を行つた。人口減少に伴い市街化調整区域の既存集落では定住人口が減少し地域コミュニティが失われ、地域活力が低下するという課題を解消することが既存集落のまちづくりに繋がると考え、県が示す指定要件を検討する中で進めてきた。

デマンド交通について

問 デマンド交通の導入は今後どのように進めていくのか。

答
利害関係者や市民代表などで構成する地域公共交通会議で

合意を得て国に対する運行許可の申請を行う。その間に、地元説明会を開催し、利用促進を図り、10月から実証実験として運行できればと考えている。

☆市街化調整区域の住宅建築

井上町（一部八剣町）、北島町、
野寄町、川井町の4区域は、住宅
等の立地基準が緩和されたことによ
り、従来は建築することのでき
なかつた専用住宅、事務所・店舗
等の兼用住宅、共同住宅が建築で
きるようになつた。

公明党



相原俊一 議員

介護支援ボランティアについて

問

ボランティア制度の受け入れ
先は市内の介護施設のみか。
また、介護保険の軽減になるのか。

答

当面は、市内の入所、通所などの介護保険施設と、市の介護予防事業を考えている。特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設などと、ウォーキング大会など健康増進、介護予防につながる事業の補助を考えている。

問

今回市長選挙は低投票率であった。市長の考え方と投票率を高める方法はどのようにか。

問

また、マニフェストへの決意を聞きたく。

答

国の選挙は、市の選挙と比べ、期日前投票の期間も長く、メディアも頻繁に取り上げるなど環境が違う。広報やホームページで情報発信し、自治の担い手としての市民の認識を啓発する。また、今後インターネット選挙での若年層の関心が上がることに期待する。

答

平成24年度当初は14基設置する計画であったが、県の補助率が下がったため、日本語と英語表記による休憩所名等の案内板を7基設置した。

五条川の環境整備について

問

五条川のお祭り広場から憩いの広場までの、基点案内板の設置はどうなったのか。

答

五条川のお祭り広場から憩いの広場までの、基点案内板の設置はどうなったのか。

名古屋江南線について

問

一宮方面へ向かう県道との立体交差部の平面化の進捗状況はどのようなか。

答

県道名古屋江南線は、愛知県が事業主体となり、現在、岩倉中学校北交差点から国道155号町屋交差点までを4車線化とする事業を行っている。平面交差化については4車線化事業に合わせて必要な用地買収を進めている。現行の交通を行させながら工事が必要なため、施工方法や迂回路の検討をしている。

天保橋建設について

問

希望の家南の広瀬橋の東に天保橋を建設することに至った経緯について説明がほしい。

答

天保橋は、木造橋撤去と同時に地元から新しい橋の早期建設の要望書が提出され、愛知県、岩倉市、北名古屋市の3者で費用負担して建設することとなつたものである。

耕作放棄地について

問

耕作放棄地を岩倉市民だけではなく、近隣、特に名古屋市民に開放してはどうか。

答

耕作放棄地も個人資産であり、農家開設型の市民農園整備を推進している。その場合農業経営の一環として補助金も受けられ、近隣市民との交流も、農家の要望により進めたい。

住民投票について

問

住民投票はどのようなことを想定しての話か。

答

住民投票は、市民の権利、市民参加の一つの手法である。議会の民意を補完する市民の意思表示を保障するものであるが、その投票結果に拘束されるものではない。



問 平成17年度から平成19年度にかけて、対策が必要となつた13橋の落橋防止対策工事は完了しているが、昭和55年以前の橋（阪神・

答 今後、耐震に対する補強計画はあるか。

問 岩倉市が管理する五条川に架かる橋はいくつあるか。

答 現在26橋あるうち、愛知県の管理が4橋、北名古屋市の管理が1橋、岩倉市の管理が21橋ある。



五条川に架かる岩倉橋

☆一般質問とは、議員が市政全般について質問することです。発言順に掲載しています。



会員 設均 梅村 創

耐震改修促進について

問 架設計画のある天保橋についてはどう考えているか。

答 東日本大震災後改訂の「道路橋示方書」に基づき、大規模な地震において崩壊しない構造の橋として整備していくことになる。

淡路大震災において被災を受けた橋は昭和55年以前に建設されたものが大半であった）が6割以上あるので、計画を立てて耐震化を図っていく必要があると考えている。

問 過去、市政情報は広報紙によることとなつた経緯がある。回覧板は区が主体のため、区長はじめ役員さんの負担を考えながら相談できればと考える。

問 回覧方法の現状調査、手渡し運動の啓発、警察からの犯罪・防犯情報や、市民活動情報の回覧等の推進はできないものか。

答 平成21年度の組織機構改革後、

問 組織の再編とグループ制について検証しているのか。問題や課題はあるのか。

答 所属長に聞くなどして検証しており、機能的でない課、職員の意識改革の問題がある。平成26年度にかけて組織再編を検討する。

問 市長公約「子育て世代住みたいまちNo.1」の施策を進めるた

市民の声を代弁——般質問

回覧板の活用について

時代の変化と共に、回覧板の存在が薄れかけている気がする。人の絆の重要性、地域コミュニティーの強化が求められている中、回覧板がそのきっかけに生かせないかお聞きする。

組織・人事マネジメントについて



会員 黒川 武創

めには、佐賀県武雄市のように部署を超えて、権限と責任を持つ職員配置が必要ではないのか。

答 必要に応じプロジェクトチームで検討するが、武雄市などの自治体の実態を把握し、どのように活用できるか検討する。

問 地域防災計画の見直しはいつ頃行うのか。被害想定、避難所に火災が迫つたらどうするのかといふ「想定外」の想定、業務継続計画、避難所運営対策、より実践的な防災訓練、女性目線の防災対策などの課題があるが、見直しについてどのように考えるか。

答 地域防災計画の見直しは、県の被害予測調査結果が年内に出るので、それを踏まえて行う。具体的な見直しは、今後検討するが、実践的な防災訓練については、自主防災会の相互の連携・協力体制を充実させるため、職員と一緒に防災訓練を小学校単位で合同で行うことを行っており、防災、応急対策及び復旧に関する計画に盛り込む。

防災対策について

問 市民に示す概要版は分かりやすいものになるよう考える。

答 県との整合を図る必要がある。

問 東日本大震災の被災地では、地域防災計画がうまく機能しなかつたと指摘された。分かりやすく、活用しやすい計画のために施策ごとに課題、目標、予防対策、応急対策、復旧対策という具体的な取り組みをまとめてはどうか。

会員
松浦正隆



オンライン教育について

問 「子育て世代に魅力ある教育」という視点から、中学校の英語・数学の授業に、生徒の意向を取り入れたコース分けをし、上級コースの生徒には、例えば「ノーベル賞を目指す」というようなオンライン教育を施してはどうか。

答 学力差のある生徒が一緒に学び、お互いに協力して問題に取り組む協同学習をすることにより、全体のレベルアップが可能であり、学習内容の難易度によるコース分けは考えていない。

- 「風水害等災害対策計画編」では、地域防災計画の見直しは、県は、防災活動を総合的かつ計画的に実施するため、地域に係る災害予防、災害応急対策、災害復旧計画等について定めている。

いじめについて

問 いじめ問題については加害児童生徒へのケアも不可欠だと思うがどのような対応をしているか。

問 子育て世代の定住化策には虫食い状態の空き地の活用、関係業界との連携が必要ではないか。

答 住宅地の安定供給が有効な人口増加策なので、有効な誘導施策を検討していく。

問 空き家、空き地の他の自治体の利活用の動きをどうみるか。

答 全体の公共施設も含めて検討していく。

問 岩倉市と岩内各地で空き家バンクが実施されているので、岩倉市としても人口減少が進む前に対策が必要であると考えている。

問 岩倉市議会だよりには虫食い状態の空き地の活用、関係業界との連携が必要ではないか。

答 住宅地の安定供給が有効な人口増加策なので、有効な誘導施策を検討していく。

答 加害児童生徒には、教職員が機会あるごとに声かけをし、周囲から見守られ、受容されているという意識を感じてもらうことが必要であると考えている。

問 渡辺錠太郎の77回忌の法要が2月26日、大地町の正起寺で厳粛に行われた。昭和6年に陸軍大將に親任されその後、陸軍教育総監となり、広い視野と優れた見識に立て、非戦平和の護持を終生貫き厳正中道の軍人であったが、昭和11年2

歴史、ロマンあふれるまちづくりについて

答

「微小粒子状物質」PM_{2.5}については、発生源や汚染の広がりは十分解明されていないが、愛知県内25地点で常時測定している結果を3月13日から、市のホームページで閲覧できるようにする。

環境問題について

問

大気汚染物質PM_{2.5}が日本に飛来して問題となっているが、本市の対応はどうするのか。

答

PM_{2.5}について、発生源や汚染の広がりは十分解明されていないが、愛知

会員
政
創
伊藤隆信



月の2・26事件の犠牲となり、あらためて非戦平和の大切さを痛感する。渡辺錠太郎が岩倉出身であることをもっとPRしては。

答 渡辺錠太郎については、以前

生涯学習センターにおいて、ご息女である渡辺和子さんによる特別講演会を開催した。2・26事件を

目の当たりにしたご本人から当時の様子や平和の尊さなどが語られ、こうした生きた証言をもとに、平和の大切さが伝わるようなPRができるよう努めていきたい。

問

柳街道（岩倉街道）は戦国時代、天下統一に迫る織田信長

★柳街道とは

岩倉市を中心部を南北に通り抜けている道が岩倉街道であり、街道沿いに柳が植えられていたことから、ところにより柳街道ともいわれている。

現在、家族・地域の中で、複



市内にある柳街道の標識

答 街道の呼び方については、岩倉街道、犬山街道、また街道沿いに柳が植えられていたことから、様々な呼び方がされているが、今後も観光資源として岩倉の町並みをP.Rしていくみたい。



平成24年度防災訓練

問 避難訓練は、避難所への最短コースで行われており、実際には火災・倒壊などで避難所にたどり着けないのではないか。

答 現在、家族・地域の中で、複数の避難経路を想定していたとき、近くの広場や空き地に一時避難したうえで、指定避難所へ避難していくいただくように周知している。これを受けて、地区の防災計画を各地区防災会において、策定していただくよう呼びかけている。

きめ細やかな災害時の対応はできているのか

会員
民
ク
ラ
宮川
隆
議員



問 3・11の反省で、仮設住宅が住みにくい点があったようだが、岩倉市の設置に当たっての仕様書は大丈夫か。

答 設置に当たっては、災害救助法に基づき、全額国費で賄われる。県の定める仕様書により設置する。市独自の基準はない。

問 備蓄品でアレルギー対応食は、整備されていることであるが、女性特有の物品や、衛生上、必要なものはどうか。

答 自助の観点から個人で準備していくべきだと考えるが、市内業者との応援協定の中で検討していきたい。

問 避難所においての、暗闇の解消とプライバシーの確保は計画の中で配慮されているのか。

答 平成24年度には、全体で5基のバルーン型投光機を導入していく。



グラウンドの整備を



日本共产党
木村冬樹議員

このような大きな事業を今後4年間で実現できるのか。

答 4年間で実現する覚悟である。防災機能を有するグラウンド整備を考えており、防災面での国の

補助を得て実現したい。

問 硬式野球ができる市の施設はなく、ソフトボールは中央公園を使っている。この現状をどう見ているか。

答 グラウンドがまだ不足していると認識している。

問 市長のマニフェストでは、子どもたちのためのサッカー専用のグラウンド建設が掲げられているが、現状から見て、その対応でよいのか。

答 幅広く利用でき、サッカーの正式フィールドもとれるグラウンドの建設を検討していく。



石仏スポーツ広場

社会保障制度の拡充を

問 生活保護費の削減はさまざまな制度に影響を及ぼす。就学援助について市はどう対応するのか。

答 来年度は現在の基準で対応していく。

問 愛知県は、子ども、障害者、一人親家庭、高齢者などの医療費を助成する福祉医療制度について、一部負担と所得制限を行う「見直し素案」を公表した。県に対しても、福祉医療制度の存続・拡充を求める働きかけを強めるべきではないか。

答 福祉医療制度が持続可能な制度となるよう、必要なことは県に対して要望していく。

問 市長のマニフェストに「人間ドックへの補助」が掲げられたが、どのように進めているのか。

答 具体的な検討までは至っていないが、現在、県内市町村の実施方法の把握を行っている。

問 岩倉市内の学校現場での状況はどうか。

答 残念ながら、平成24年度に体罰の事案が5件あったが、生徒、保護者に説明し謝罪することで理解もいただいた。1件は解決が長引いたが、学校と家族が連携して関わり、元気に通学できるようになつた。

問 特定健康診査の受診率の低下が続いているが、医療機関における個別健診の検討はどのように進めていくのか。

答 医師会との調整をしながら進めていく。

問 愛知県は、子ども、障害者、一人親家庭、高齢者などの医療費を助成する福祉医療制度について、一部負担と所得制限を行う「見直し素案」を公表した。県に対しても、福祉医療制度の存続・拡充を求める働きかけを強めるべきではないか。

答 福祉医療制度が持続可能な制度となるよう、必要なことは県に対して要望していく。



日本共産子規議員
桝谷

子供の命を守り、発達を保障する教育を

問 子どもの命と安全を守るべき教師が、どんな理由であれ「体罰」という名の暴力を振るうことは許されないと考えるが、どうか。

答 体罰は児童生徒の体だけでなく、心も深く傷つけるものであり、決して容認されるものではない。

問 1つ目に、体罰はあってはならないという共通認識を図り、服務規律の自己点検活動を行う。2つ目に、児童生徒へのアンケート、相談員やスクールカウンセラー等、多方面からの情報収集と迅速な対応を行う。3つ目に、事例研究をしながら研修を深めていく。

答 1つ目に、体罰はあってはならないという共通認識を図り、服務規律の自己点検活動を行う。2つ目に、児童生徒へのアンケート、相談員やスクールカウンセラー等、多方面からの情報収集と迅速な対応を行う。3つ目に、事例研究をしながら研修を深めていく。

問 体罰防止に向けて、どのように対応しているのか。

答 1つ目に、体罰はあってはならないという共通認識を図り、服務規律の自己点検活動を行う。2つ目に、児童生徒へのアンケート、相談員やスクールカウンセラー等、多方面からの情報収集と迅速な対応を行う。3つ目に、事例研究をしながら研修を深めていく。

問 市営大地プール跡地という場所の選定はどのように決めたのか。

答 敷地が5千平方メートル以上確保できること、工業地域・市街化調整区域に限られていること、配達を考慮した学校からの距離や道路条件、ライフラインの整備等、総合的に検討した結果、選定した。

問 新しいセンターに自家発電装置を備え、災害時に対応できる施設にすべきだと考えるがどうか。

答 災害時稼働のためには、多くの課題があり、建設までに検討していく。

太陽光発電システムも取り入れる。



問 食物アレルギーのある子どもが増えていて、アレルゲンで多い卵と牛乳に対する代替食対応は実施する考え方。

答 最低でもそのことはやつていかなければならぬと考へてある。どこまで対応するのか、これから検討していく。

平成24年度行政視察来庁一覧

平成24年度は下記の12団体が岩倉市へ行政視察のためお越しになりました。議会改革に関するテーマ(※)では、本市の議会改革特別委員会の正副委員長をはじめ議員も参加し、活発な意見交換が行われました。

月 日	団 体 名	調 査 事 項
5月18日	大阪府泉南市議会総務文教常任委員会	子ども条例の制定について
6月 1日	弥富市議会庁舎改築等特別委員会	市庁舎の視察について
8月17日	(※)弥富市議会	議会報告会運営等について
10月 4日	(※)兵庫県たつの市議会議会改革調査特別委員会	岩倉市議会における先進的議会改革の取組みについて
10月17日	京都府木津川市議会産業・建設常任委員会	住宅リフォーム補助事業について
10月24日	(※)京都府向日市議会議会運営委員会	議会報告会について
10月25日	埼玉県蓮田市議会建設・経済常任委員会	都市基盤整備について～駅東地区北街区市街地再開発事業～
10月25日	新潟県新発田市議会総務常任委員会	庁舎の機能全体概要について
11月20日	(※)石川県能美市議会議会活性化特別委員会	議会の活性化について
1月31日	(※)兵庫県相生市議会議会運営委員会	議会改革、議会基本条例について
2月 8日	埼玉県蕨市議会日本共産党蕨市議団	高齢者福祉について
2月14日	(※)福井県大野市議会議会等改革推進特別委員会	議会基本条例等について

議会の生の声を傍聴してみませんか

次回6月定例会は下記のとおり開催いたします。
(日程は都合により変更となる場合があります。)

市議会はどなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

6月定例会会期(案)

- 6月10日(月) 議案の上程、提案説明
- 6月12日(水) 議案質疑
- 6月13日(木) 一般質問
- 6月14日(金) 一般質問
- 6月17日(月) 一般質問
- 6月18日(火) 総務・産業建設常任委員会
- 6月19日(水) 厚生・文教常任委員会
- 6月20日(木) 予算常任委員会
- 6月25日(火) 委員長報告、質疑、討論、採決

※開会時間はいずれも午前10時です。

市議会ホームページのご案内

◆録画配信を行っています

本会議の模様をインターネットで録画配信していますので、こちらもぜひご覧ください。
岩倉市ホームページ

(岩倉市ホームページアドレス)

http://www.city.iwakura.aichi.jp/
⇒市議会⇒録画中継

◆会議録について

本会議及び委員会の会議録をホームページからご覧いただけます。

<本会議>

岩倉市ホームページ⇒会議録検索システム

(※今回の3月定例会会議録は、6月上旬に公開予定です。)

<委員会>

岩倉市ホームページ⇒市議会⇒定例会の概要

議会広報特別委員会 (◎は委員長 ○は副委員長)

◎木村 冬樹

○梅村 均 宮川 隆 相原 俊一 黒川 武